

抗議中の競技の記入例 ①競技終了時(これをコピーする) 注) 便宜上、必要な欄のみ記入しています

期日 年 月 日 ( ) 開始時刻 : 終了時刻 : 区分

陸協名 コード 競技会名 コード  
主催団体名 競技場名 コード

審判長  
J T O  
記録主任  
記録担当審判員 R

試技順	ナンバー	競技者名(生年)	都道府県名 所属・学年	試技			3回の 最高記録	トップ8の 試技順	試技			最高記録	順位	得点	備考
				1	2	3			4	5	6				
1		A					59 <sup>m</sup> 62	9			60 <sup>m</sup> 12	60 <sup>m</sup> 12	1		
2		B					53 <sup>m</sup> 89	4	54 <sup>m</sup> 20			54 <sup>m</sup> 20	7		
3		C					56 <sup>m</sup> 23	6	57 <sup>m</sup> 60			57 <sup>m</sup> 60	3		
4		D					52 <sup>m</sup> 37					52 <sup>m</sup> 37	9		
5		E					49 <sup>m</sup> 33					49 <sup>m</sup> 33			
6		F					57 <sup>m</sup> 46	7				57 <sup>m</sup> 46	4		
7	678	G					54 <sup>m</sup> 56	1	45 <sup>m</sup> 30	47 <sup>m</sup> 29	40 <sup>m</sup> 95	54 <sup>m</sup> 56	6		3回目よりP
8		H					50 <sup>m</sup> 11					50 <sup>m</sup> 11			
9		I					55 <sup>m</sup> 95	5	56 <sup>m</sup> 25			56 <sup>m</sup> 25	5		
10		J					51 <sup>m</sup> 82	2			52 <sup>m</sup> 45	52 <sup>m</sup> 45	8		
11		K					58 <sup>m</sup> 80	8	59 <sup>m</sup> 36			59 <sup>m</sup> 36	2		
12							m					m			
13							m					m			
14							m					m			
15							m					m			
16							m					m			
17							m					m			
18							m					m			
19							m					m			
20							m					m			

審判長記入欄

注1: 試技結果が次の場合、該当する日本語表記、または略号を記入欄に記入する。(無効試技…× 失格…DQ 欠場…DNS パス…- 試技放棄…r 記録なし…NM 抗議中の試技…P) ←記録欄記入例

注2: 日本新記録、大会新記録などは備考欄を利用して記入する。日本新記録・日本タイ記録は、3名のフィールド審判員が計測する必要がある。(CR31.17.1)

注3: (生年)は生まれた年(西暦)の下2桁を記入する。例) 2005年生まれ → (05) 注4: 学年は中高一貫校及びクラブチームの場合、高校生はH1~3(High school)、中学生はJ1~3(Junior high school)を記入する。

注5: TR8. 5を適用している競技会で、抗議中の競技があった場合は、抗議の対象になった試技の記録には( )をつけ、備考欄にPを記入する(例: 2回目に抗議があった場合は「3回目よりP」)。  
競技終了後、記録担当者が必要事項を記入したものをコピーをする。記録主任または審判長がコピーしたものに必要があれば赤字で記録・順位等の訂正をし、審判長は審判長記入欄に裁定結果を赤字で記入する。  
記録主任・審判長は赤字でサインの上、原本と一緒に保管する。

(男・女) 砲丸投・円盤投・ハンマー投・やり投 (規格

kg・g)

予選(組)・決勝

記録表A

P

抗議中の競技の記入例 ②裁定の結果有効試技となった場合

(注) 便宜上、必要な欄のみ記入しています

期日 年 月 日 ( ) 開始時刻 : 終了時刻 : 区分(エピソードのもの)

陸協名 コード

競技会名 (赤字で記入)

コード

主催団体名

競技場名

コード

審判長 X ←

J T O 赤字サイン

記録主任 X ←

記録担当審判員 R

試技順	ナンバー	競技者名(生年)	都道府県名 所属・学年	試技			3回の 最高記録	トップ8の 試技順	試技			最高記録	順位	得点	備考
				1	2	3			4	5	6				
1		A					59 <sup>m</sup> 62	9			60 <sup>m</sup> 12	1			
2		B					53 <sup>m</sup> 89	4	(54 <sup>m</sup> 20)		54 <sup>m</sup> 20	7			
3		C					56 <sup>m</sup> 23	6	(57 <sup>m</sup> 60)		57 <sup>m</sup> 60	3			
4		D					52 <sup>m</sup> 37				52 <sup>m</sup> 37	9			
5		E					49 <sup>m</sup> 33				49 <sup>m</sup> 33				
6		F					57 <sup>m</sup> 46	7			57 <sup>m</sup> 46	4			
7	678	G				(54 <sup>m</sup> 56)	47 <sup>m</sup> 37	(54 <sup>m</sup> 56)	1	45 <sup>m</sup> 30	47 <sup>m</sup> 29	40 <sup>m</sup> 95	54 <sup>m</sup> 56	6	3回目よりP
8		H					50 <sup>m</sup> 11				50 <sup>m</sup> 11				
9		I					55 <sup>m</sup> 95	5	(56 <sup>m</sup> 25)		56 <sup>m</sup> 25	5			
10		J					51 <sup>m</sup> 82	2		(52 <sup>m</sup> 45)	52 <sup>m</sup> 45	8			
11		K					58 <sup>m</sup> 80	8	(59 <sup>m</sup> 36)		59 <sup>m</sup> 36	2			
12							m				m				
13							m				m				
14							m				m				
15							m				m				
16							m				m				
17							m				m				
18							m				m				
19							m				m				
20							m				m				

審判長記入欄 678 G 2回目 54m 56 を有効試技とする ← 赤字で記入

注1: 試技結果が次の場合、該当する日本語表記、または略号を記入欄に記入する。(無効試技…× 失格…DQ 欠場…DNS バス…ー 試技放棄…r 記録なし…NM 抗議中の試技…P)

注2: 日本新記録、大会新記録などは備考欄を利用して記入する。日本新記録・日本タイ記録は、3名のフィールド審判員が計測する必要がある。(CR31.17.1)

注3: (生年)は生まれた年(西暦)の下2桁を記入する。例) 2005年生まれ → (05) 注4: 学年は中高一貫校及びクラブチームの場合、高校生はH1~3(High school)、中学生はJ1~3(Junior high school)を記入する。

注5: TR8. 5を適用している競技会で、抗議中の競技があった場合は、抗議の対象になった試技の記録には( )をつけ、備考欄にPを記入する(例: 2回目に抗議があった場合は「3回目よりP」)。

競技終了後、記録担当者が必要事項を記入したものをコピーをする。記録主任または審判長がコピーしたものに必要があれば赤字で記録・順位等の訂正をし、審判長は審判長記入欄に裁定結果を赤字で記入する。

記録主任・審判長は赤字でサインの上、原本と一緒に保管する。

(男・女) 砲丸投・円盤投・ハンマー投・やり投 (規格 kg・g)

予選(組)・決勝 記録表A

P

抗議中の競技の記入例 ③ 裁定の結果無効試技となつた場合

(注) 便宜上、必要なら欄の外に記入して可

期日 年月日( ) 開始時刻 : 終了時刻 :

コピ (コピーしたもの)

陸協名

コード

競技会名

コード

主催団体名

競技場名

コード

審判長 Z ←

J T O

記録主任 X ←

記録担当審判員 R

赤字でサイン

試技順	ナンバー	競技者名(生年)	都道府県名 所属・学年	試技			3回の 最高記録	トップ8の 試技順	試技			最高記録	順位	得点	備考
				1	2	3			4	5	6				
1		A					59 <sup>m</sup> 62	9			60 <sup>m</sup> 12	60 <sup>m</sup> 12	1		
2		B					53 <sup>m</sup> 89	4	(54 <sup>m</sup> 20)			54 <sup>m</sup> 20	6	7	
3		C					56 <sup>m</sup> 23	6	(57 <sup>m</sup> 60)			57 <sup>m</sup> 60	3		
4		D		赤字で訂正			52 <sup>m</sup> 37					52 <sup>m</sup> 37	8	9	
5		E					49 <sup>m</sup> 33					49 <sup>m</sup> 33			
6		F					57 <sup>m</sup> 46	7				57 <sup>m</sup> 46	4		
7	678	G					<del>54<sup>m</sup>56</del> 47 <sup>m</sup> 37	1	45 <sup>m</sup> 30	49 <sup>m</sup> 29	40 <sup>m</sup> 95	<del>54<sup>m</sup>56</del>	11	6	3回目よりP
8		H					50 <sup>m</sup> 11					50 <sup>m</sup> 11			
9		I					55 <sup>m</sup> 95	5	(56 <sup>m</sup> 25)			56 <sup>m</sup> 25	5		
10		J					51 <sup>m</sup> 82	2			(52 <sup>m</sup> 45)	52 <sup>m</sup> 45	7	8	
11		K					58 <sup>m</sup> 80	8	(59 <sup>m</sup> 36)			59 <sup>m</sup> 36	2		
12							m					m			
13							m					m			
14							m					m			
15							m					m			
16							m					m			
17							m					m			
18							m					m			
19							m					m			
20							m					m			

審判長記入欄 678 G 2回目を無効試技とし、記録と順位を訂正した ← 赤字で記入

注1: 試技結果が次の場合、該当する日本語表記、または略号を記入欄に記入する。(無効試技...× 失格...DQ 欠場...DNS バス... 試技放棄...r 記録なし...NM 抗議中の試技...P)

←記録欄記入例

注2: 日本新記録、大会新記録などは備考欄を利用して記入する。日本新記録・日本タイ記録は、3名のフィールド審判員が計測する必要がある。(CR31.17.1)

注3: (生年)は生まれた年(西暦)の下2桁を記入する。例) 2005年生まれ → (05)

注4: 学年は中高一貫校及びクラブチームの場合、高校生はH1~3(High school)、中学生はJ1~3(Junior high school)を記入する。

注5: TR8、5を適用している競技会で、抗議中の競技があった場合は、抗議の対象になった試技の記録には( )をつけ、備考欄にPを記入する(例: 2回目に抗議があった場合は「3回目よりP」)。

競技終了後、記録担当者が必要事項を記入したものをコピーをする。記録主任または審判長がコピーしたものに必要があれば赤字で記録・順位等の訂正をし、審判長は審判長記入欄に裁定結果を赤字で記入する。

記録主任・審判長は赤字でサインの上、原本と一緒に保管する。